

東京の会通信

No.227

2010年3月1日号
(毎月1回1日発行)

発行：公的骨髄バンクを
支援する東京の会
〒160-0005 東京都新宿区
愛住町23 Woody21-9F
TEL：03-3354-6377
(FAX兼用)



<http://www.marrow.or.jp/tokyo/>
e-mail:marrow_tokyo@yahoo.co.jp
定価 100 円

東京と大阪であやちゃん展開催！

7歳のあやちゃんの時を超えた訴えに共感広がる

東京の会が創立20周年の記念に発行した「2011あやちゃんの贈り物カレンダー」がきっかけで実現した大阪芝田町画廊での原画展「あやちゃんの贈り物展」は、1月31日から2月26日まで開催されました。

この原画展は、芝田町画廊のオーナーである猪井虎治さんが、カレンダーを報道した毎日新聞の記事を見て、東京の会の事務所にカレンダーを注文した時に原画展の開催を申し出たのがきっかけとなりました。

この申し出を受けて、正月返上で希望のあった絵の選びだしとキャプションの文章作成を行い、1月3日には絵を発送したのでした。打ち合わせはメールで頻繁に行われ、画廊の吉田隆博マネージャーのスピーディーな準備により滞りなく進み、70点ほどの原画と、これまでに全国協議会の巡回では公表していなかった「最後に描かれた天使」の原画、デッサン帳の一部、現存する遺品類なども展示されました。

私も、1月31日の開始日には東京の会の大塚さんと共に出席をさせていただき、2月11日には再び妻と訪れましたが、あらためて7歳のあやちゃんの絵が訴えているものに圧倒されました。

この間、画廊吉田マネージャーの尽力により関西テレビが東京まで取材に来られ、11日の現地での取材を経て、14日夕方のニュースで放映されたことから、19日までだった会期が26日まで延長されました。たくさんの方が訪れて、絵を鑑賞した後、近くの献血ルームでドナー登録をする方も出るなど、反響は予想をはるかに超えて大きなものになりました。

今回の原画展には、全国各地のボランティアの皆様や、東京の会の会員も、遠く大阪まで訪れてくれました。また、全国協議会、東京の会の共催事業として位置付けられたとともに、神戸の会、京都の会、奈良の会、姫路の会、関西協会、大阪で子供の患者支援を行っている特定非営利法人エスビューローのご協力をいただきましたことに、あらためまして感謝申し上げます。また、主催していただいた芝田町画廊の猪井虎治様、マネージャー吉田隆博様、画廊プランナー江島公義様、吉田千栄子

様には準備、開催中ともに大変お世話になったことに感謝申し上げます。(三瓶和義)

(芝田町画廊について：オーナー猪井虎治氏の義父甲斐常好氏の絵の保存と、芝田・梅田地域を絵画文化の中心にすることを目指し、若手画家のために開設された画廊です。ホームページもあります。マネージャー吉田隆博氏が常駐しています。)

銀座でもあやちゃん展

東京の会が「2011年あやちゃんの贈り物カレンダー」を販売したことで、各地で「あやちゃんの贈り物展」開催が企画されました。そんな中、いつもあやちゃん展の際に絵の配送をお願いしているヤマト運輸さんから、「絵を展示できるスペースを無償提供したい」と全国協議会宛に大変ありがたいお申し出がありました。

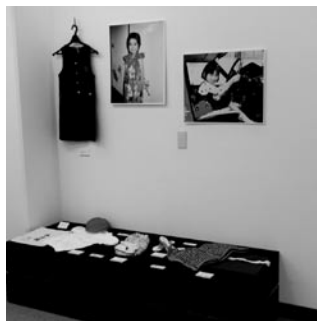
ヤマト運輸では、グループ内に「ヤマト福祉財団」を設立し、心身に障がいのある人々の「自立」と「社会参加」を支援することを目的として、個人の賛助会員と労働組合のカンパ活動で資金面の援助を続けながら多岐に活動しています。その一つに「スワンペーカーリー事業」があり、障がい者が働く場としてパンの販売とカフェの運営を全国展開しています。

カフェの1号店である「スワンカフェ銀座店」のギャラリースペースに、1月23日から2月5日まで、あやちゃんの絵が展示される事となりました。開催日前日の22日夕方、十数枚の額装されたあやちゃんの絵を店内の壁にレイアウトすると、銀座のおしゃれなカフェに繊細な絵がピッタリとマッチしました。天使のシリーズも静かな雰囲気の中、中空を舞うようです。ポスターやチラシもレジ前に置かせていただき、トイレにあやちゃんのカレンダーを飾ってもらいました。

規模の小さい会場ではありましたが、昼・夜と、喫茶店を利用した銀座のお客様に、あやちゃんの絵が優しく語りかけたことでしょう。ヤマト運輸の皆様と「スワンカフェ銀座店」スタッフの皆様、心より感謝申し上げます。(若木 換)



開催初日(中央筆者)



体操服や上履きなどの遺品



スワンカフェ店内のギャラリースペース

宮城順さん全国走覇チャレンジ 地元神奈川で湘南の風になる

湘南国際マラソンレポート

宮城順

全国走覇チャレンジのスタートから1ヶ月以上過ぎ、その間に私の生活環境も少し変わってきました。実は去年の2月に6年近く勤めていた会社を辞めました。会社を辞めてからは、半年近く簡単なパソコンの資格を取得するために学校へ通ったりしました。その後も、「自分が病気だった経験を少しくらいは活かせるのかな?」と、医療事務を勉強し、メディカルクラーク2級の資格も取ることができました。そして去年の12月の宮崎県で開催された青島国際太平洋マラソンの翌日から就職活動をはじめ、就職難の世の中ではありますが、都内の病院で働き始めることができました。今まで以上に体調には気をつけて、仕事と全国走覇と両立させていきたいと思います。

そんな訳で、全国走覇チャレンジの2回目は、地元の神奈川県で開催された湘南国際マラソンを走ってきました。前回と同じように骨髄バンクの文字を大きく入れたTシャツや帽子を用意、ただ今回はTシャツの後ろに私の憧れの人の池山隆寛（ヤクルトスワローズ2軍バッテリーコーチ）さんに応援のサインを入れてもらいました。私が20年前に骨髄移植の治療を受けていた時も、選手時代の池山さんに応援のサイン色紙とサインボールを頂いて、白血病を克服する大きな力になりました。きっと全国走覇チャレンジにも大きな力をくれると思います。

湘南国際マラソンは、西湘バイパスを駆け抜ける海と富士山を眺めながらの気持ちの良いコースで、コース上は1万人を超えるランナーを始め、多くのボランティアや応援の方々で埋め尽くされていました。1人でも多くの方に「骨髄バンクって?」と、関心を持ってもらえるようにコース上を右往左往しながら、沿道の方々の声援に笑顔で応えながら10kmを走ってきました。

そして、Tシャツや帽子を見てくださった方から多くの声援をもらうことができました。



池山さんのサイン入りチャレンジTシャツ

60代の男性からは、「私は骨髄バンクに登録していましたよ。でも何年か前に卒業になってしまい、結局一度も提供のチャンスは無かったのですが、こうして元気になられた方とお会いできるのは嬉しいです」と言ってもらえました。その他にも、偶然にも私と同じように骨髄バンクの標を掛けて全国を走り回っているというランナーとお会いできました。

今大会では、私は今まで以上に体力的に余裕を持って完走することができました。小学生の頃の移植だったため、晩期障害で体力が付きにくい体になってしまいましたが、継続してトレーニングしていれば、ゆっくりですが、ちゃんと体力が付いてくるのだと実感できました。今まで体力がないことが自分の中で不安材料だったので、マラソンを始めて徐々に体力に自信が付いたことは私にとっては精神面でも大きくプラスになりました。

これからも、体を大事にすることを第一目標に、マイペースでトレーニングをして全国を回りたいと思います。

今後の予定は3月27日（日）福井県の足羽川マラソン、6月12日（日）山形県のさくらんぼマラソンとなっていますので、応援よろしくお願ひします!

東京の会 「3月定例会」 のお知らせ

3月19日（土）午後5時30分より
会場：全労済東京・レインボー会館3階会議室
※新宿駅下車7分（新宿区西新宿7-20-8）
※西新宿駅下車1番出口徒歩2分
青梅街道新宿警察署さらやか銀行の角入ってすぐ右側
※4月定例会予定・4月16日（土）午後5時30分より
定例会は毎月第3土曜日午後5時30分 から開催しています。

4月会報発送 「おりおり」 のお知らせ

4月2日（土）13時00分より
※13時までは品川運輸さんが使用されています。13時以降にお越し下さい。
場所：品川運輸・4階会議室（品川区東大井2-1-8）
JR大井町駅徒歩8分・京浜急行鮫洲駅徒歩2分
※今お読みになっている「東京の会通信」を約1000部折って封入して発送します。簡単な誰にでも出来る作業です。いつも人手が足りません。どうかご協力を。
※5月「おりおり」予定・5月7日（土）13時00分より

新しい方大歓迎です。お気軽においで下さい。お待ちしております。

骨髓バンク・ドナーになって

中川 貢一 (50歳)

私が骨髓バンクのドナー登録について知った時は、実は健康な自分ではありませんでした。精神の病になり、しばらく休職している時でした。休職はしていましたが入院していたわけではないので、日常的に時間がたくさんあり、友人に誘われて献血センターに行ったのが骨髓バンクを知ったきっかけでした。精神的に病んでいる自分にも何かできることがあれば……と思い、骨髓バンクに登録したのです。

仕事に復帰でき、しばらくたった頃です。骨髓バンクに登録したことも忘れてしまいそうな、そんな頃でした。「患者さんのHLA型が一致しました」の通知が届きました。その中には、「話をすぐに進めますか？それとも骨髓を提供するまでに考える時間が必要ですか？」と書かれていました。もちろん答えは「即、実行！」「ただちに短期間で早くやりたい」と回答しました。そこにはドナーになることへの不安は全くありませんでした。

気がかりなのは職場の理解が得られるかどうかということでした。幸い、職場の人たちからは理解を得ることができ、快く送り出してもらいました。一日も早くドナーになりたい！という気持ちが伝わったのだと思います。

回答後は、コーディネーター、医師、看護師たちから丁寧な説明を受けました。いくつかの検査がありましたが、安心して受けることができました。また、妻も私より早くドナー登録していたので、「良かったわね」という反応でした。

また、入院にあたって万全の体制でしたし、主治医からは笑顔で迎えられ、安心感の中、不安なく骨髓提供に挑むことができました。

骨髓バンクに登録するきっかけは、自分の病気でした。自分の病気のことで頭がいっぱいだったのですが、コーディネーターとの会話で、不治の病であった白血病についてより知ることができました。



自分がドナーになったことで各検査をしてもらい、自分の健康が証明され、保証されました。そして、自分がかかえている病気からも回復していることを実感することができました。また、どなたかの役に立てたことは、とても幸せなことだと思っています。そして、なかなか一致することのない患者さんとドナーのHLA型……ドナーとなったことで、提供した自分の方が人としての自信やエネルギーをもらった気がしています。

骨髓提供を終え、なかなか患者さんからの手紙が届きませんでした。「ハッピーエンドにならない場合も……」と思い始めていた頃、ようやく手紙が届きました。ご本人からの手紙はもちろん嬉しかったのですが、5歳になるお孫さんのメッセージが印象的でした。「おばあちゃんのいのちをたすけてくれたひとのように、おとなになったらじぶんもひとのやくにたちたいです」

自分の小さなきっかけがこんな風に広がっていくといいなと思っています。

追伸

ドナーになるより、この原稿を書く方がずっと大変でした！！

日本骨髓バンクの登録患者と検査済登録ドナー (平成22年1月末日現在)

	ドナー(全国)	ドナー(東京)	患者(全国)
登録者累計	377,704	53,230	32,125
1月登録分	2,853	262	234
1月抹消数	1,400	169	—
実質登録増	1,453	93	—

患者とドナー登録・適合状況(1月末日現在)

ドナー登録受付者数(累計)	490,964人
ドナー登録抹消者数(累計)	113,260人
有効二次検査済ドナー数	377,399人(1月1,470人増)
二次検査適合ドナー数(累計)	237,446人
実質登録患者実数(現在)	2,937人(国内1,494人)
HLA適合患者数(累計)	26,096人(患者累計数の81.2%)
非血縁移植実施数	12,592例(1月実施94例)

心のこもったご寄付ありがとうございました。(2011.1.16~2.15)

小山田ヤエ子さん 5,000円／仁野明人さん 2,000円／佐藤祥枝さん 2,000円／岡野憲嗣さん 7,000円
権藤玲恵さん 3,000円

お寄せいただいたご寄付のうち、会費未納の会員からは会費(年3,000円)を差し引いて掲載させていただきました。

編集者 雑記



▼チュニジアに端を発した中東イスラム圏の民主化運動は、エジプトからイラン、アルジェリア、ヨルダン、イエメン、リビアへと伝播し、バーレーンでも改革を求めるデモが続いています。

▼国によって改革運動が起きる背景に多少の事情の違いはあるようですが、これらの動きを、遠いイスラム社会の特殊な革命運動として捉えるのではなく、自由・平等を求める人間の普遍的欲求の発露を求める世界的流れとして受け止めるべきでしょう。

▼チュニジア、エジプトの指導者の退陣を求める活動で、重要な役割を果たしたのはインターネットによる情報伝達でした。

▼エジプト、チュニジアは両国とも独裁政治体制が長く続き、独裁者は体制維持のため、情報管理にインターネットへの検閲・統制を行っていた国です。長く続いた独裁者の腐敗した政治を改革するため、民衆はその検閲・統制の壁を打破したのです。

▼国境なき記者団(報道・言論の自由の擁護を目的として活動するNGO)が発表している世界報道自由ランキングによれば、冒頭にあげた国々は178か国中、120位から175位にランクされており、情報統制が厳しい国々です。このような国々で、民衆がインターネットで真実の情報に触れ、目隠しをしていた独裁者に退場を迫ったのです。

▼異なる観点から世界の国々の民主主義の水準を評価している指数があります。イギリスのエコノミスト誌傘下の研究所エコノミスト・インテリジェンス・ユニットが167カ国について、選挙手続き、政府の機能、政治への参加、政治文化、市民の自由の5部門を評価してランク付けした指数です。

▼いずれの国も政体が独裁政治体制であり、選挙手続き・多元性、政府の機能、政治への参加、政治文化、市民の自由の評点が低く、民主主義指数は117位から160位と低いのです。

▼政体に独裁政治体制が多いのはイスラム圏諸国の生い立ちに原因があるようです。王制が続いている国もあり、王制から共和制に変わった国でも宗教界の指導者や軍の指導者が権力を掌握して大統領・首相になり統治している国式が多いのです。

▼このような独裁政治体制の下では、為政者が軍や警察権力を強化し、体制批判を抑圧して体制維持を図ることが多く、民衆は自由にものが言えず、閉塞感が強まっています。今回の中東の変動はこんな閉塞感を打ち破るマグマの噴出だったのではないのでしょうか。

▼イスラム圏以外の地域でも、独裁政治体制が採られている国では同じような事態が起きる可能性が高く、このような国ではインターネットの統制管理に力を入れています。ITの進歩はその壁をいつか乗り越えていくでしょう。

▼独裁的統治は国家のレベルだけでなく、企業組織や行政組織、その他の法人組織、また組織の中の部や課の運営においても起こりうることです。

▼身近な職場の組織で独裁的統治が行なわれ、構成メンバーに閉塞感が発生した場合には、まず、モラルが低下して職場の雰囲気暗くなり、病欠者や退職者が増えるでしょう。そして最も強い職場の反応としてはパワーハラスメントに対する是正要求となる場合もありうるでしょう。

▼民間企業、官公庁、公益法人、学校法人、NPO等、種類を問わず組織にあって、組織全体、その中の部、課、ユニットの運営責任を持つ立場にある人は、組織の仕事力を最大にするために組織運営をどう行うべきか、権限を振りかざして効率だけを追及するのではなく、すべての構成員が精神的充足感を持って心身共に健康に仕事に励んでもらうにはどうすればよいのか、常に考え実行する必要があります。(k)

東京ドナー登録会予定(3月)

3/8 (火) ITCネットワーク(墨田区)

3/16 (水) 赤羽駅東口(北区)

3/16 (水) 渋谷区役所(渋谷区)

3/24 (木) 中央区立産業会館(中央区)

3/27 (日) 高島平団地東武ストア前(板橋区)

3/29 (火) 福生市役所(福生市)